

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会福祉学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	普通教室
担 当 教 員	森下 昇	実務経験とその関連資格	理学療法士として、急性期～生活期まで実務の経験あり			
《授業科目における学習内容》						
日常生活活動(ADL)は、リハビリテーションの目標を決定するうえで最も重要な核となるため、その概念・範囲・意義を学ぶとともに、セルフケアを構成する主な動作・機能を学ぶ。また、ADLの評価方法や各疾患・障害に応じたADL練習・指導、介助法の実践についても学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験、出欠および課題発表内容等から総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 専門分野 日常生活活動学・生活環境学(第6版)						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書および配布資料を中心に講義を行います。 ADLの評価、練習・指導、実践、報告ができるよう学習しましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADLの概念、ADLと国際生活機能分類(ICF)、ADLの位置づけなどについて理解する		指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) ADLとICFについて復習する 30分
		各コマにおける授業予定	日常生活活動(ADL)総論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL評価		指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) ADL練習・指導について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	ADLの評価の意義・目的について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL評価―動作分析の視点①		指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 評価の目的、ポイントについて復習する 30分
		各コマにおける授業予定	基本動作を運動学的に分析する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL評価―動作分析の視点②		指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 各種ADL評価の特徴について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	基本動作を運動学的に分析する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL評価―BI		指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 動作観察・分析について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	基本的なADL評価法について理解する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL評価―FIM	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) BIの注意点、臨床活用について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	基本的なADL評価法について理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL支援機器①	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) FIMの注意点、臨床活用について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	歩行補助具について理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL支援機器②	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 補装具の種類と適応について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	車いすの構造について理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	起居・移乗動作	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 起居・移動動作について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	機器の適合について理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動動作	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 基本動作の運動学的特徴について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	基本動作③		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行動作	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 移動動作の援助方法について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	整形疾患の特性と指導のポイントについて理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	身のまわり動作	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 歩行、身の回り動作の運動学的特徴について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	脳卒中の特性と指導ポイントについて理解する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL演習①	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 福祉用具・自助具、住環境整備について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患別のADL動作について学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL演習②	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 中枢神経障害のADLについて復習する 30分
		各コマにおける授業予定	疾患別のADL動作について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 運動器障害のADLについて復習する 30分
		各コマにおける授業予定	国試対策、試験対策		